

2022(令和4)年度 全国公立高等学校
海外修学旅行・海外研修(修学旅行外)実施状況調査報告

2022(令和4)年度

コロナ禍と修学旅行

—新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が与えた修学旅行への影響 Vol. 3—

【2022(令和4)年度 全国公立高等学校・中学校修学旅行実施状況調査の報告】

～ 海外教育旅行の再開 ～

付 2022(令和4)年度 国内修学旅行における航空機の利用状況
2022(令和4)年度 訪日教育旅行(公立高等学校・中学校)受入状況

2023(令和5)年度 全国都道府県・政令指定都市修学旅行
(海外・国内)実施基準概要

2024(令和6)年1月発行

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

新型コロナウイルス感染症と修学旅行 vol.3

— 2022（令和4）年度の修学旅行の実施状況—

公益財団法人 全国修学旅行研究協会
理事長 岩瀬 正司

新型コロナウイルス感染症の猛威もようやく収まり、平穏な日常が戻ってきましたが、この「コロナ禍」は修学旅行にも大きな影響を与えました。

当協会では、20年前より主として高等学校の海外修学旅行の実態調査をほぼ悉皆で行い、様々な調査結果・資料の提供を行ってきました。しかし、3年前の2020（令和2）年度は、コロナ禍により海外修学旅行は全面的に中止になりました。そこで、本調査は視点を変えて、「コロナ禍における修学旅行」を主題として、2022（令和4）年度までの3年間の継続調査を実施してまいりました。その結果、コロナ禍以前の通常期の修学旅行と、直撃を受けた2020（令和2）年度、小康状態の2021（令和3）年度、回復に向かった2022（令和4）年度の、日本全国の公私立中学校、公私立高等学校の修学旅行の実態と推移を明らかにすることができました。

このコロナ禍で、改めて確認されたことがあります。それは以下の3点に集約されます。

- ①修学旅行の実施を促す文部科学省の通知 → 修学旅行の重要性と教育的意義の再確認
- ②日本人のほぼすべてが体験する共通の日本文化 → 修学旅行は日本の特色ある教育活動
- ③学校単独では実施不可能 → 修学旅行は社会的な教育活動であり経済的側面も有する

このような修学旅行に対する好意的な確認・認識とともに、一方では、コロナ禍を経て修学旅行を巡る新たな課題も浮かび上がってきました。

コロナ禍によって旅行関連事業は大きな打撃を受けましたが、国内の修学旅行がほぼ復活した現在では各方面・業種は深刻な人手不足に見舞われ、旅行費用も予想以上に高騰しています。さらに、外国人観光客の増加もあって、有名観光地では訪問者はもちろん、そこに住む人々の日常生活に支障をきたすほどの大混雑が起っています。

その結果、修学旅行に「安・近・短」を求める動きが出てきました。安上がりの「安」、近場で済ませる「近」、期間短縮の「短」です。前述したように、修学旅行は学校教育上、非常に重要な活動であると私たちは捉えています。その修学旅行を、安直に「安・近・短」の内容で実施することが課題の解決になるものなのか、疑問のあるところです。学校・教員の働き方改革の視点からの安易な「安・近・短」も含め、この傾向とどう向き合うかは今後の大きな課題であり、修学旅行の在り方そのものを問い続けていかなければならないと思います。

日本全国の中学校・高等学校の3年間にわたる「コロナ禍における修学旅行」の実態をほぼ悉皆で調査したこのような資料は、他に類を見ないものであると私たちは自負しております。

当協会のこの冊子を有効活用していただき、教育・学校や旅行事業関係者の方々のみならず、多くの方々にとって今後の修学旅行について考える一助になれば、それに優る喜びはありません。

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の方法と内容	1
2. 集計及び区分け等	1
3. 2022（令和4）年度 全国高等学校・中学校の概要	1
II 2022（令和4）年度 全国公立高等学校・中学校修学旅行実施状況	2
1. 高等学校	2
（1）実施校数・実施率／参加生徒数・参加率	2
（2）都道府県別実施状況	2
2. 中学校	4
（1）実施校数・実施率／参加生徒数・参加率	4
（2）都道府県別実施状況	4
III 2022（令和4）年度 全国公立高等学校の修学旅行方面別実施状況	6
1. 公立高等学校	6
（1）実施校数	6
（2）参加生徒数	8
2. 私立高等学校	10
（1）実施校数	10
（2）参加生徒数	12
IV 2022（令和4）年度 全国公立中学校の修学旅行方面別実施状況	14
1. 公立中学校	14
（1）実施校数	14
（2）参加生徒数	16
2. 私立中学校	18
（1）実施校数	18
（2）参加生徒数	20
「2022（令和4）年度 全国公立高等学校・中学校修学旅行実施状況調査」まとめ	22
海外教育旅行の再開	23
1. 調査結果の概要	25
（1）2022（令和4）年度 海外修学旅行の実施状況	25
（2）2022（令和4）年度 海外研修（修学旅行外）の実施状況	31
2. 2022（令和4）年度 全国公立高等学校の海外修学旅行実施状況	34
（1）実施校数と参加生徒数	34
（2）出発地別実施状況	34
（3）訪問国別 実施校数と参加生徒数（延べ数）	36
（4）実施学年・実施月・旅行日数・旅行費用	47
<参考資料 1> 2022（令和4）年度 全国公立中学校の海外修学旅行実施状況	50
3. 2022（令和4）年度 全国公立高等学校の海外研修（修学旅行外）実施状況	53
（1）実施校数と参加生徒数	53
（2）出発地別実施状況	53
（3）研修先国別 実施校数と参加生徒数（延べ数）	54
（4）研修先・研修内容別 実施校数と参加生徒数（延べ数）	65
（5）実施学年・実施月・旅行日数・旅行費用	67
<参考資料 2> 2022（令和4）年度 全国公立中学校の海外研修（修学旅行外）実施	69
「～ 海外教育旅行の再開 ～」まとめ	73
<付 表>	
1. 2022（令和4）年度 国内修学旅行における航空機の利用状況	74
2. 2022（令和4）年度 訪日教育旅行（公立高等学校・中学校）受入状況	83
3. 2023（令和5）年度 全国都道府県・政令指定都市修学旅行実施基準概要	90
<参考資料 3>	
1. 公立高等学校の海外修学旅行・海外研修／国別実施校数・参加人数推移	110
2. 公立高等学校・中学校の国内修学旅行における航空機利用校数・人数推移	111
<編集後記>	
	（公益財団法人 全国修学旅行研究協会 調査部）

I 調査の概要

1. 調査の方法と内容

各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校担当部署に、所管する高等学校、中学校の修学旅行の実施状況等について調査を依頼し、以下のとおりまとめた。

なお、一部実施状況ならびに実施内容を把握できていない箇所については、本協会が独自調査を行った。愛知県の私立学校に関しては、愛知県私立中学高等学校協会の協力を得た。

- (1) 調査の期日 2023(令和5)年5月1日現在
- (2) 調査対象 各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署
- (3) 調査内容
 - イ. 2022(令和4)年度全国公立高等学校・中学校修学旅行方面別実施状況(校数・実施率、参加生徒数・参加率、旅行方面)
 - ロ. 2022(令和4)年度国内航空機利用修学旅行の実施状況
 - ハ. 2022(令和4)年度海外修学旅行実施状況(校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、訪問国)
 - ニ. 2022(令和4)年度海外研修実施状況(校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、研修先国、研修内容)
 - ホ. 2022(令和4)年度訪日教育旅行受入状況
 - ヘ. 2023(令和5)年度修学旅行実施基準概要

2. 集計及び区分け等

- データは各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署からのデータを集計し、一部本協会の調査データを加えた。
- 方面別実施状況は、クラス別・班別及び課程別での実施や複数方面にまたがる場合も1校として集計のため、設置校数・生徒数と一致しない。県によって人数のデータが把握できていないところは、文部科学省学校基本調査のデータを基に参考数値として集計した。私立校は、前年度同様、所管部署の「把握できている範囲」での回答と本協会独自調査によるデータを合わせ、極力実態に近い数値となるようにした。
- 海外修学旅行・海外研修とも都道府県の実施校数・参加生徒数は出国数をベースとし、クラス別・班別及び課程別での実施を件数表示とした。また複数方面にまたがる場合、国別集計では延べ数でカウントした。
- 訪問国は、旅行という観点から大陸区分によったが、グアム・サイパン島は北アメリカに、パラオ・マーシャル諸島はオセアニアに区分した。
- 海外研修は語学研修、ホームステイ、教科の特性を生かした実習・研修、姉妹校交流等をまとめ、研修内容の区分は本協会独自の仕訳によった。
- 訪日教育旅行受入状況については、一部地域を除き、各都道府県教育委員会で把握されているものを掲載した。

3. 2022(令和4)年度全国高等学校・中学校の概要

[高等学校]

- 学校数は4,824校(本校4,742校、分校82校)で、前年度より32校減少(本校25減、分校7減)している。
 - ・ 公立の学校数は3,489校で、前年度より32校減少(本校25減、分校7減)している。
 - ・ 国立の学校数は15校で、前年度と同数である。
 - ・ 私立の学校数は1,320校で、前年度と同数である。
 生徒数は約295万7千人で、前年度より約5万1千人減少している。(中等教育学校を含むと約297万人)
- 中等教育学校数は57校(国立4校、公立35校、私立18校)で、1校増加した。
- 修学旅行対象学年(全日制2年、定時制3年、専科、別科、中等教育後期課程)の生徒数は約97万3千人で、前年度より約3万7千人減少している。

[中学校]

- 学校数は10,012校(本校9,934校、分校78校)で、前年度より64校減少(本校63減、分校1減)している。
 - ・ 公立の学校数は9,164校で、前年度より66校減少している。
 - ・ 国立の学校数は68校で、前年度と同数である。
 - ・ 私立の学校数は780校で、前年度より2校増加している。
 生徒数は約320万人5千人で、前年度より約2万4千人減少している。
- 修学旅行対象学年(3年生基準)の生徒数は約107万9千人で、前年度より約1千人増加している。

(資料：令和4年度文部科学省学校基本調査)

<編集後記>

『コロナ禍と修学旅行』発刊にあたり

2019（令和元）年12月中国・武漢市で確認された原因不明の肺炎は「COVID-19」（新型コロナウイルス感染症）と名付けられ、全世界に蔓延。WHO（世界保健機関）は、世界的な大流行を指す言葉で「パンデミック」の宣言をした。

2020（令和2）年に入り、日本国内でも感染が始まる。1月16日国内初の感染者が発表されると、2月横浜沖で客船「ダイヤモンド・プリンセス号」内で集団感染が発生。同2月には国内初の死者の確認がされるなどした。感染経路不明の事例も相次ぎ、4月政府は緊急事態宣言を発出するなど対策を執ったが収束の兆しを見ることはなく、約1年後には、世界の感染者数は1億人を超えた。その後感染の拡大は4年にわたり続くこととなる。

教育関係では、2020（令和2）年2月末、首相が全国の学校に臨時休校を要請、夏の全国高校野球大会の戦後初の中止決定などもあった。そして、都道府県を跨ぐ移動の自粛要請は、修学旅行実施に大きな影響を与えた。

本調査は、この新型コロナウイルス感染症が与えた修学旅行への影響を「コロナ禍と修学旅行」として、2020（令和2）年度から2022（令和4）年度の3年間修学旅行の実態を調査し、その状況を残した。今回の2022（令和4）年度調査を最終版とする。

◆2020（令和2）年度 修学旅行の中止相次ぐ

全世界に拡大する正体不明のウイルスの脅威。リスク回避のための修学旅行実施の是非。度重なる延期、旅行方面の変更…そして中止。高校生約62万人、中学生約43万人の生徒たちが修学旅行の機会を失う。

◆2021（令和3）年度 コロナ禍の経験値による回復

コロナ禍2年目、感染拡大は予断の許さない状況の中、1年間の経験により、Withコロナでの修学旅行実施に着手。学校をはじめ修学旅行を支えるすべての人たちの努力と工夫により修学旅行の実施が劇的に回復する。

◆2022（令和4）年度 全面的な修学旅行再開

全国殆どの学校で修学旅行が実施された。修学旅行方面は、コロナ前の状態に戻りつつある方面と、回復に至っていない方面とが混在。旅行方面を含め修学旅行の意義や在り方について再認識される年となった。そして2年間の空白を経て海外修学旅行の一部再開が成された。

修学旅行実施自体に関しては、様々な方法により一定の落ち着きを取り戻しているが、コロナ禍が残した“人手不足”が及ぼす影響が、今後修学旅行を平常の状態を実施していく上で喫緊に解決していかなければならない課題である。

最後に、本調査にご協力をいただいた、各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校担当部署の皆様方に心より感謝申し上げます。

※本調査は「全国公私立高等学校 海外修学旅行・海外研修実施状況調査」の特別版として作成しています。

（公益財団法人 全国修学旅行研究協会 調査部 石原輝紀）

本報告書のデータは、公益財団法人 全国修学旅行研究協会の公式ホームページ【修学旅行ドットコム (<http://shugakuryoko.com/>)】内の、「調査・研究活動」ページに、PDF形式で全て掲載しております。

本報告書は毎年（2000年分より）ホームページ上に掲載しており、最新版は後日の掲載となります。（最新版の掲載時期は1月下旬を予定）

本報告書とは別に、中学校の調査については、別途、下記三地区の公立中学校の修学旅行委員会で実施しているアンケートを集約した「学びの集大成を図る修学旅行」として同ホームページ内に掲載しております。

- ・ 関東地区公立中学校修学旅行委員会
（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県）
- ・ 東海三県中学校修学旅行委員会
（愛知県、岐阜県、三重県）
- ・ 近畿中学校長会修学旅行専門委員会
（滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県）

[QRコード]

右記QRコードは、修学旅行ドットコムのトップページへリンクしております。
スマートフォン専用ページではありません。



2022(令和4)年度 全国公私立高等学校海外修学旅行・海外研修(修学旅行外)実施状況調査報告

2022(令和4)年度 **コロナ禍と修学旅行**
—新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が与えた修学旅行への影響 Vol. 3—
【2022(令和4)年度 全国公私立高等学校・中学校修学旅行実施状況調査の報告】
～ 海外教育旅行の再開 ～

付 2023(令和5)年度 全国都道府県・政令指定都市修学旅行実施基準概要

2024(令和6)年1月

発行 公益財団法人 全国修学旅行研究協会
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8 九段南ビル6F
TEL 03-5275-6651 / FAX 03-5275-6653
E-mail shuryo@h2.dion.ne.jp
URL <http://shugakuryoko.com/> (修学旅行ドットコム)